

第7回教育研修委員会報告書<1/3>

日時	2026年3月11日(水) 14時00分~15時10分
会場	神情協事務局 会議室 & Zoom
出席者	齋藤(和)、山崎、飯高、持地、佐藤(明)、大指、原田(真)、西村、染谷、長谷川、森井、佐藤(航)、齋川、一色、髭、齋藤(駿)、小林、渡部、木村、萩原、原田(明)、山王、内山、村岡、渡辺、下鳥、杉本(敬称略)事務局

■協会活動報告について

1)入会について

2月度理事会において正会員2社の入会が承認されました。また、12月末で正会員1社の退会報告があったことから、2月度理事会時点の会員数は、正会員308社、賛助会員54社、合計362社となりました。

2)第9期後期役員及び副委員長選任の件

下記の通り、常務理事及び副委員長の選任について承認されました。

- ・辻 高志氏:常務理事(6月開催の定時社員総会終了後より)
- ・田村孝章氏:理事→常務理事(4月より)
- ・松尾 聡氏:常務理事→理事(4月より)
- ・教育研修委員会副委員長:徳 琢磨氏、下鳥淳一郎氏(4月より)
- ・産学連携委員会副委員長:佐野光太氏、山田幸子氏(4月より)
- ・技術委員会副委員長:岡本知彦氏(4月より)
- ・労働福利委員会副委員長:至田勝紀氏(4月より)
- ・ダイバーシティ委員会副委員長:小檜山秋氏(4月より)

3)会費規程改定の件

昨年より検討を続けてきました会費規程改定について承認されました。2027年4月1日より適用開始となります。なお、改定内容の詳細については、2026年4月に会員企業にご案内させていただきます。

4)2026年度定時社員総会講演者について

6月18日(木)開催の定時社員総会記念講演会の講師として、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社の代表取締役社長 日色保氏に講師として依頼することが承認されました。

5)役員の方々の定時社員総会及び賀詞交歓会参加費用について

役員の方々は、定時社員総会及び賀詞交歓会当日に担当いただく役割があることから、今後、定時社員総会懇親会並びに賀詞交歓会の参加費を徴収しないことが承認されました。

6)下記のイベントについて周知されました。

- ・第80回神情協ビジネスフォーラム <4月16日(木)>
- ・第88回神情協ゴルフコンペ <5月28日(木)>
- ・第1回教育担当管理者セミナー <4月8日(水)>
- ・海外視察研修旅行 <6月2日(火)~5日(金)>
- ・27卒向け神情協合同企業説明会 <4月24日(金)>
- ・家族地引網大会 <6月6日(土)>
- ・労働福利セミナー開催について<4月24日(金)>

7)今後のイベント予定

- 3月12日(木) SE講座講師審査会
- 3月18日(水) 横浜市交流委員会設見学会
- 3月19日(木) 2026年3月度正副会長会議&理事会
- 4月08日(水) 教育研修委員会&第1回教育担当管理者セミナー

第7回教育研修委員会報告書<2/3>

日時 2026年3月11日(水) 14時00分~15時10分

■分科会報告

1)第一分科会(新入社員&内定者向け講座)

- ◎2025年度の事業は、内定者向けのEラーニング講座を除き全て終了。
- ◎新入社員研修、ITEC主催のマナーコースは37名、ライティングコースは22名で開講予定。エンベックスエデュケーション主催のJavaWebコースは、13名で開講予定。但し、募集を終了した組み込みコースに問い合わせがあり、1社1名が確定、追加で2名増加の可能性はある。
- ◎新入社員向け技術見学会は、2026年度も富士通テクノロジーホールを予定。富士通Japan様にご協力いただき、通常の予約開始時期より早めに調整してもらっている。

2)第二分科会(技術者向け講座)

- ◎2025年度の事業は全て終了。
- ◎全54講座中、開講30講座、中止22講座で開講率59.3%。総受講者数189名、1講座あたり平均5.9名。
- ◎中止講座への申込者40名。約17.5%が受講の機会を失っている。ちなみに、第三分科会の機会損失率は8.8%。第二分科会は、最少開講人数が5名の講座が多く、4名申し込みがあっても中止になってしまう。
- ◎2026年度は、開講率向上を目指すとともに、1講座あたり平均受講者数7名以上、受講機会の損失を抑制したい。

3)第三分科会(管理者向け講座)

- ◎3月予定されている講座は開講が決定。結果、99講座中60講座開講、39講座中止で開講60%。
- ◎第三分科会の機会損失率は8.8%と第二分科会より低い。最少開講人数に達していない場合でも開講しているケースがあるためと思われる。
- ◎2026年度は、52コース76回に講座数を削減し、集客の向上を図りたい。

4)第四分科会(海外研修・SEハンドブック等)

- ◎2025年度の事業は全て終了。
- ◎2026年度は台湾への海外視察研修旅行を実施。現在募集中、現在、2社5名の申し込み。あと15名必要なため協力をお願いしたい。
- ◎SEハンドブック改訂のための検討会を4月から、委員会開催前に実施していく。改訂内容は今後検討していくが、新たに経営戦略・情報システムに関する部分の追加を検討したい。

5)その他事業

- ◎教育斡旋講座の収支報告と、次年度に向けて講座内容について変更等あれば、事務局まで連絡して欲しい。
- ◎BIPROGYが提供するeラーニング特別パッケージは、料金改定により値上げされている。
- ◎宿泊研修は10月~11月頃開催を予定。函南スプリングホテルを候補として検討中。他にも候補があったら是非提案して欲しい。

■その他

40周年記念イベントを8月8日(土)横浜新都市ホールで開催。当日、委員会より10数名の手伝いが必要となるので、是非、ご協力いただきたい。

第7回教育研修委員会報告書<2/3>

日 時

2026年3月11日(水) 14時00分~15時10分

■私の歩みと研修

今回は、テクノスクエア株式会社の渡部さんより発表があった。

次回(4月)の委員会では、株式会社BREXA Technologyの下鳥さんより発表いただく。

■第6回教育担当管理者セミナー

委員会終了後、株式会社アイルミッションの石川一己氏を迎え、「サイバー攻撃の現状および代表的な侵入経路とその対策」をテーマに講演いただいた。参加は33社48名。

■次回委員会

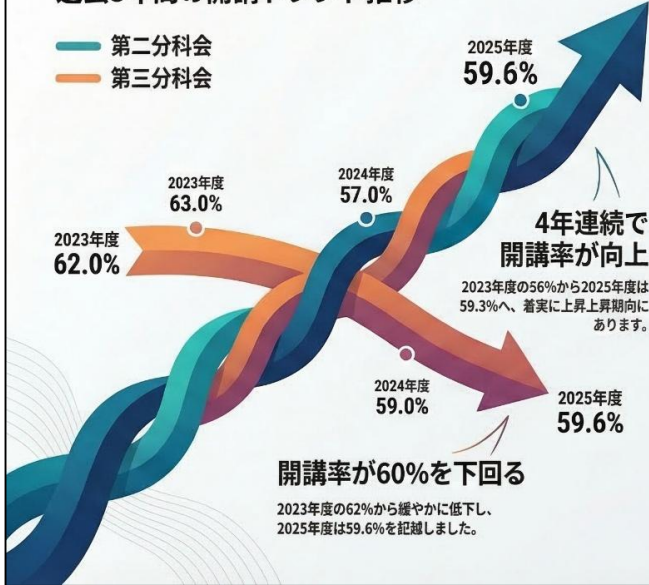
2026年度第1回教育研修委員会は、4月8日(水)14時より、神情協事務局会議室にて開催します。

以 上

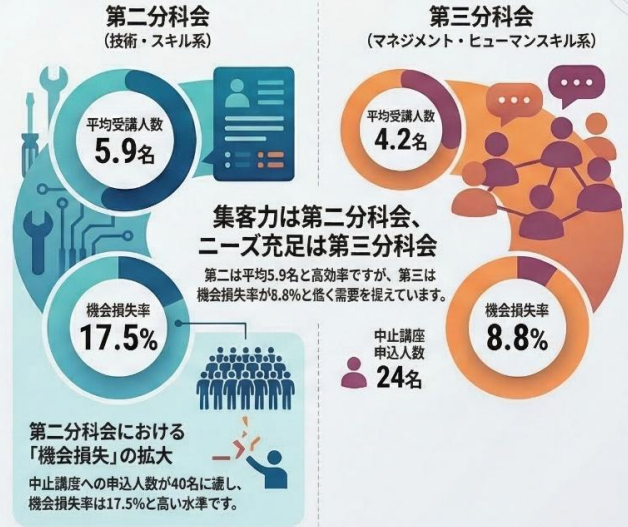
2025年度 教育講座分科会：実績推移と最新比較分析

2025年度の最新データを反映し、第二分科会（技術・スキル系）と第三分科会（マネジメント・ヒューマンスキル系）のパフォーマンスを比較しました。過去3年間で第三分科会の開講率が微減する一方、第二分科会は1講座あたりの集客力と開講率を伸ばしており、両者の特性の違いが解明になっています。

過去3年間の開講トレンド推移



2025年度 実績比較（効率とニーズ）



NotebookLM

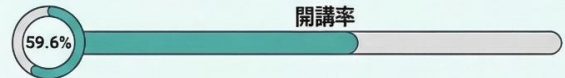
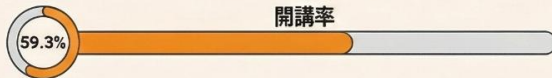
2025年度 教育分科会実績：最新比較分析レポート

2025年度の第二・第三分科会の詳細データに基づき、両者の実績を比較。開講率は約60%で拮抗していますが、1講座あたりの集客力と中止講座に伴う機会損失率において、両分科会の特徴が顕著に分かれる結果となりました。

第二分科会

2025年度 主要指標の比較

第三分科会



実施講座数: 32
受講者数: 189名



実施講座数: 59
受講者数: 248名

分析：集客力と機会損失の差

第二分科会の高い集客力



平均 5.9名 / 講座
第三分科会の4.2名に対し、第二分科会は1講座あたりの集客効率が高い傾向

深刻な「機会損失」



17.5%
機会損失率

中止講座への申込が40名に達し、需要を拾いきれていない課題

第三分科会はニーズを堅実に充足



平均 4.2名 / 講座

低い機会損失率



機会損失率は8.8%と低く、講座数が多い中でニーズを適切に捉えています

NotebookLM